

令和4年度 市民大学前期講座プログラム（案）

協議資料 2-3

《人間理解コース》「地域で始まる「孤立」から「支え合い」へ」

1 趣旨

地域では様々な生活課題を抱えている世帯や孤立しやすく、地域の輪から外れてしまう人々が増えています。また、自ら助けを求めることが困難な状況にある人々も増えています。このような人々には、地域や人とのつながりを回復させていく取り組みが必要ですが、助け合い・支え合いの手が届いておらず困っているケースも多いです。本講座では、地域における孤立解消に向けた取り組みや地域の特性にあわせた実践的な取り組みを中心に紹介します。さまざまな視点から身近な地域で社会的孤立を防ぐためにできることを一緒に考えましょう。

2 学習方法 前期：講義 講義：ゼミナール・実習

3 曜日・時間 水曜日 午前・午後 7 時 ～ 午前・午後 9 時

4 講座コーディネーター 新潟青陵大学社会福祉学科 准教授 李 在億

5 プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/8	孤立を生まない地域づくり	今、なぜ地域で支え合い、助け合いが必要なのか？孤立から生じるさまざまな問題を整理しながら、これからの地域づくりについて考えます。	新潟青陵大学社会福祉学科 准教授 李 在億
2	6/22	「ない」から「創った」地域の居場所～まるごと～	地域で誰でも利用でき、人と人とのふれあいで、みんなが元気になる、楽しめる居場所づくりについて考えます。	みんな居場所 「marugo-to」代表 岩崎 典子
3	6/29	助け合い“自宅から福祉避難所へ直接避難できる”新潟市を創る	災害による避難生活が必要な時に、一人暮らし高齢者や障がい者など孤立してしまうという問題は深刻です。地域全体で支えていく方法を考えます。	新潟青陵大学社会福祉学科 准教授 三浦 修
4	7/6	「地域から孤立している 8050 世帯の支援」について	親子が地域から孤立する問題として「8050 問題」の背景と支援について、実践から学び、考えます。	新潟市地域包括支援センターしろね南 秋山 詩織
5	7/13	「孤立 ZERO プロジェクト」	「暮らし」や「住まい」に関する福祉の悩み事や困り事を抱えている方への支援について学びます。	新潟市社会福祉協議会 地域福祉課 川瀬 聖志
6	7/27	“地域まるごと家族” みんなの居場所「そらいろ子ども食堂」	温かい食事と団欒を提供し、子どもたちが地域のさまざまな人とふれあうことのできる居場所づくりの活動について学びます。	新潟青陵大学社会福祉学科 准教授 藤瀬 竜子
7	8/17 公開	ささえあい買い物事業～あいのり～	地域で買い物や外出に困っている高齢者を支える取り組みを紹介します。 「第 10 回健康寿命を伸ばそう！アワード」厚生労働大臣優秀賞。	渋川市社会福祉協議会 生活支援課 登坂 将志
8	8/24	障がい者の働きを地域で支える	地域で働きにくさを抱えている人々への支援について学び、地域で支えるために必要な仕組みを考えます。	新潟青陵大学社会福祉学科 准教授 海老田 大五朗
9	9/14	孤立した“ひきこもりの家族”とどうつながっていくか	ひきこもり状態にある人や家族をどう支えていくか。家族の悩みや困っていることの相談や支援について学びます。	長岡崇徳大学看護学科 教授 斎藤 まさ子
10	9/28	みんなで作る支え合う地域	1 回～9 回を振り返り、これから地域に必要な支え合い活動とは？また、一人ひとりができることは何か？について、共に考えます。	新潟青陵大学社会福祉学科 准教授 李 在億